

イノベーション教育 イノベーションを担う人材の育成

統合科学技術コースにおけるカリキュラム開発

代表者：高木 昌宏（マテリアルサイエンス研究科 教授）

活動内容

- 新カリキュラムとして「地域再生システム論」などの実施および「イノベーション教育」の検討 -

統合科学技術コースでは、以下に具体的に示す内容に従って、新たなカリキュラムの実施・検討を行っている。

「技術経営入門」の開講

2005年度にマテリアルサイエンス研究科が、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業と連携を強め、理系出身技術者のための技術経営の講義、「技術経営入門」を準備した。

自立研究者育成からリーダー育成へ

これまでは、研究者の自立、特に「問題解決能力・問題発見能力」をキーワードに教育プログラムを立案してきた。今後は、これまでの実績を踏まえつつ、リーダー育成に重点を置いた教育プログラム（例えば、グループワーキングを主体とした教育活動）を立案、実施する。大学院教育改革支援プログラムに、知識科学研究科、マテリアルサイエンス研究科双方から新たな教育プログラムを提案した。

地域再生に向けて

内閣府との連携による「地域再生システム論」講座を開講。講座の内容では分析と実践の両面から研究アプローチを行い、地域再生に必要な知の構造と特性を明らかにして新たな社会システムの構築へとつなげていく。

【2006年度「地域再生システム論」講義（一部抜粋）】

（総論）

地域再生政策とははじめ：地域再生本部の設立から地域再生法の策定まで
地域再生の方法論：地域再生の各種支援
知識創造自治体の理論と実践

（分野別の政策論）

福祉と地域再生：地域福祉の推進による地域の活性化を中心に
経済活動の視点からの地域再生
中小企業施策と地域活性化 ～“新連携”などの新しい施策の動きを中心にして～
観光と地域振興
バイオマス・ニッポン総合戦略と地域バイオマス戦略

（具体的な地域の実例を中心とする各論）

産学官連携による地域再生について ～小樽市の実例を中心として～
地域イノベーション人材育成論：七尾市の再生実践を例として
知性と感性の交差点 ～おいしいまちづくり～

COEイノベーション研究プロジェクトの教育カリキュラム化

COEイノベーション研究である分野横断プロジェクト「成熟産業におけるイノベーション」「研究哲学に裏打ちされた知識創造活動」「コーディネーションのための知識表現法」「研究室のナレッジマネジメント」の内容を統合科学技術コースにおいてイノベーション教育のカリキュラムとしていくことを検討している。

研究メンバー

三宅 幹夫	（マテリアルサイエンス研究科 教授）
井川 康夫	（知識科学研究科 教授）
近藤 修司	（知識科学研究科 教授）
小林 俊哉	（科学技術開発戦略センター 准教授）
中森 義輝	（知識科学研究科長・教授）
岩崎 敬	（統合科学技術コース 非常勤講師）